

# V I E W

No. 78

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

## 誰が「ルール」を守らないのか？！

### 関西支社長からの表彰・訓示で

### 作業が大幅に遅れる！！

4月20日、朝の点呼に田中関西支社長をはじめ管理部長・人事課長・車両担当部長ら関西支社の幹部が来所し「社長表彰」「優良職場表彰」「支社長訓示」「安全の日の唱和」などを行い、140分しか時間のない午前中の作業に所定の時間より約15分遅れて着手しました。その結果昼の休憩時間を10分遅らせる休憩時間変更（A担当や運転台担当は一部超過勤務扱いも）を行いました。午後の作業も遅れはなかったものの「1本140分の交検（午後の1本）を130分で施工」したことになります。当日の終了点呼前に現場管理者に尋ねたところ「140分は目安」という返答でした。

ご承知のように3月31日から「新交検」がスタートし1本140分で交番検査を施工しています。柘植社長をして「施策の三冠王」という今回の「新交検」の着手を15分も遅らせるというのは、関西支社や大阪交番検査車両所自らが「新しい施策をないがしろにした行為」ではないでしょうか？！

「以前と較べて作業時間が短いので表彰や訓示はできるだけ短く」と考える担当者や現場管理者はいなかったのでしょうか。また「安全の日の唱和や儀式」も同じ日にやらなくてもよかったのではないのでしょうか。私たち社員は階段の手すりをたまたま持っていなくても管理者から「ルール違反です」と注意されます。日頃から「時間に厳しい鉄道業に従事する社員」として出勤遅延についても厳格に指導されています。「新幹線車両の検査業務着手を15分遅らせる行為」はお客様に良い品質の車両を提供することにつながるのでしょうか？！